

卒業おめでとう。晴れて卒業の日を迎えた皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。

皆さんが入学した2014年は広島豪雨や御嶽山噴火等の災害もありましたが、一方で、本学設立五十周年の記念講演にお招きし、特別栄誉教授に就

身に付けて卒業できたでしょうか。

AIによる「テクノロジ失業」が取り沙汰されていますが、AIが人間に取って代わるのは「作業」であって「職業」そのものではありません。記憶と作業は得意でも、AIは思考したり、自分で目的を決めたりはできません。

AIにはない思考力 と独創性を磨け



学長 健一
成田

任頂いた中村修二先生がノーベル物理学賞を受賞された年でもありました。

さて、AIによる医療診断やタクシー配車の最適化など、新しい技術による社会の変化は益々加速しています。そんな社会に船出していく皆さんは、激動の時代を生き抜くための武器を十分

ルーチン作業はテクノロジに任せ、創意工夫や判断という人間にしかできない領域に皆さんの仕事の内容は変化していくでしょう。その意味で皆さんにとって有用な武器とは、個々の知識やスキルにもまして、失敗を恐れずにチャレンジする知的好奇心や目標に向

かって粘り強く考え抜く資質です。このような、「非認知能力」あるいは「性格スキル」と心理学で呼ばれる能力は、意識すれば成人後も生涯にわたって伸ばせる能力であると言われています。

昨年の講演で中村修二先生は、高効率青色LEDの発明に辿り着くまでに何度も失敗を繰り返され、自らの手で実験装置の改良を重ねたと語っておられました。そういえば、LEDが出現するまで照明の主役であったランプを発明したエジソンは、成功までに五千回も失敗を重ねたそうです。そのことを彼は「この組み合わせはうまくいかないことを発見した」と語っています。そう、経験には二種類しかありません。「成功」の経験と「学び」の経験のふたつ、「失敗」という経験はないのです。皆さんが失敗を恐れず、AIにはない思考力と独創性で、日本の未来に貢献してくれることを心から願っています。